



学 校 便 り

<本気・元気・根気>

あきる野市立西中学校
学校便り 第3号
編集：副校長 柴崎美典
令和8年6月

雨垂れ石を穿(うが)つ！ —— 6月、実直な努力が拓く未来 ——

校長 田中 晴恵

校庭の草木が日ごとに色を深め、梅雨の訪れを告げる季節となりました。衣替えを終えた生徒たちが、大空の下でも清々しく目に映ります。4月の緊張感と5月の連休を終え、学校生活に落ち着きが見え始める一方で、この6月は疲れが出やすい時期でもあります。

今、改めて皆さんに伝えたい言葉があります。それは「雨垂(あまだ)れ石を穿(うが)つ」という言葉です。軒下から落ちるわずかな雨粒も、同じ場所に絶えず落ち続けることで、ついには硬い石に穴をあけてしまう。転じて、どんなに小さな力であっても、休まず正しい努力を続ければ、必ず大きな目的を達成できるという教えです。

現代は、何事にも効率やスピードが求められる時代です。しかし、皆さんが今取り組んでいる「学び」や「人格形成」において、近道というものは存在しません。

たとえば、毎日の家庭学習で机に向かうこと。部活動で基礎練習を淡々と繰り返すこと。挨拶や身の回りの整理整頓を怠らないこと。これらは一見、地味で退屈なことかもしれません。すぐに結果が出ないため、「これをやって何になるのだろう」と不安になることもあるでしょう。

しかし、そこで諦めずに「**実直**」に積み重ねる力こそが、最も尊い才能です。

実直な努力とは、誰も見ていないところでも、自分に嘘をつかずにやるべきことを全うする姿勢です。華々しい成果の裏には、必ずと言っていいほど、この「雨垂れ」のような執念深い継続があります。石に穴があくその瞬間まで、変化は見えないかもしれません。しかし、石の内部では確実に変化が起きています。皆さんの心や体の中でも、日々の努力によって見えない根が深く、強く張られているのです。

今月末には期末テスト、そして3年生にとっては部活動の集大成となる大会が控えています。結果を恐れて立ち止まるのではなく、今日という日の一滴を、心を込めて落としてください。その実直な一步一步が、数ヶ月後、数年後の自分を支える確かな力となります。

私たち教職員も、生徒一人ひとりの「小さな一滴」を見逃さず、その歩みに寄り添い、共に石を穿つ覚悟で日々の指導にあたっています。

ご家庭におかれましても、結果の良し悪しだけでなく、そこに至るまでの「**努力の過程**」を認め、励ましの言葉をかけていただければ幸いです。



～製作中～

第1学年 校外学習に関する学習のまとめ

大悲願寺・・・源頼朝の命で、鎌倉時代に建てられた。白い萩は、伊達政宗が欲しがったとされる。(3組 Mさん)

秋川溪谷・・・多摩川最大の支流 春はムラサキツツジ、夏はホタル、秋は紅葉、冬は雪景 季節によって楽しめる。(3組 Sさん)

瀬音の湯・・・特有な「とろみ」「ぬめり」がある。美肌の湯として知られている。他県からの利用者も多い。(2組 Oさん)

大岳鍾乳洞・・・昭和 36 年発見 全長 30m 見事な鍾乳石が立ち並んでいる。(3組 Mさん)

南沢あじさい山・・・地元南沢氏が、約 50 年間で 1 万株まで育てた。例年、6 月中旬頃から見ごろを迎える。約 50m の村造沿いが華やか。(1組 Nさん)

運 造 紙・・・都内で唯一の手すき和紙 コウゾを原料として、オアイの粘液を混ぜて作成 市内小中学校の卒業証書に使われている。(2組 Tさん)

五日市線の魅力・・・大正 14 年開業 2025 年に 100 周年を迎えた。武蔵増戸駅は、開通当時、別の駅名だったが、1930 年に、今の名前になった。(1組 Oさん)

あきる野市の食文化・・・自然が豊かで、採れる食材がたくさんある。のらぼう菜やトウモロコシが有名 川魚も採れる。(2組 Tさん)

あきる野市の伝統・・・獅子舞や神楽 農村歌舞伎などが根付いている。(1組 Kさん)



校外学習に関する学習(6組 Ver.)

【2年生】

江の島・・・今では、橋でつながっているため、徒歩で行くことが可能となった。昔は、徒歩で渡ることはできなかった。地形が変わって、徒歩で渡れるようになったという説もある (Yさん)

杉本寺・・・天台宗の寺院 本尊は、十一面観世音菩薩像 鎌倉最古の寺院 (Kさん)

明月院・・・1159 年 平治の乱で戦死した首藤保道の供養として息子が建てた。(Wさん)

【1年生】

成 光 寺・・・本尊は、阿弥陀如来で、金剛願地藏が 6 体もあった(驚いた) (Oさん)

大悲願寺・・・実際に見たら、とても迫力がすごくて感激しました。観音堂には、極楽浄土や地獄の縁が彫られていて少し怖かったです。(Yさん)

鎌倉時代にタイムスリップした感じでした。七福神も行きたいなと思いました。クイズは結構難しかったけれど解けて良かったです。

五日市線・・・1925 年 4 月 25 日開通。その後、日の出町大久野地区から、石灰石を輸送するために、武蔵五日市から武蔵岩居間が開通。しかし、昭和 16 年大久野線は姿を消した。(Kさん)

カ レ ー・・・おこげができたときは悲しかったですが、おいしく食べることができた。(Kさん)

